

かずさ水道広域連合企業団 広域連合ビジョン

令和6年度 進捗管理表

かずさ水道広域企業団

広域連合ビジョン 総括表（令和6年度版）（施策評価及び成果評価）

1 強 韌【災害に強い水道】

施策目標	実現施策	主な施策内容	評価項目	達成状況	達成率	施策評価	
災害に強い施設づくりと危機対応力の向上	(1) 主要な施設及び管路の耐震化、停電対策	配水池や浄水場内施設などの耐震化	施設耐震化の実施状況（配水池）	◎	0.86	A	
			施設耐震化の実施状況（大寺浄水場内）	◎			
		非常用自家発電設備の整備	非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道事業）	◎			
			非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道用水供給事業）	-			
	(2) 適正な維持管理による水道施設の機能保持	管路の漏水調査の実施	管路の漏水調査	◎			
			水管橋の点検実施	×			
			運転管理業務の集約化	◎			
	(3) 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化	応急給水訓練や情報伝達訓練の実施	応急給水訓練や情報伝達訓練の実施回数	◎			
			プロジェクトチームによる危機管理体制の強化				プロジェクトチーム会議回数など
			かずさ四市との応急給水等連絡調整会議の実施				応急給水等連絡調整会議回数

評価項目数①	達成状況②	達成率(②/①)
7	6	86%

成果指標	目標	実績	成果評価	成果評価に対する説明
配水池の耐震化率(水道)	35%(R10) 45%(R15)	-	-	-
耐震化済施設数の割合(用供)	35%(R10) 45%(R15)	-	-	-
浄水場事故回数(※4)	0回	0回	A	0回のためAと評価した。引き続き、災害に備え、未然防止体制を整備する。
管路の事故割合(水道)	10件/100km(R10) 8.9件/100km(R15)	-	-	-
応急給水訓練等参加延べ人数(※5)	189人以上/年	351人/年	A	351人であったことから、Aと評価し、引き続き危機管理体制の強化を図っていく。

2 安 全【安心安全な水】

施策目標	実現施策	主な施策内容	評価項目	達成状況	達成率	施策評価		
安心で安全な水の安定供給	(1) 安定した水源の確保	水源水質の監視	水源水質監視項目などの水質検査	◎	0.93	A		
			水道法の検査頻度に基づく検査の実施	◎				
	(2) 適正な水質管理、水質検査水準の維持	水安全計画のフォローアップ	水安全計画のフォローアップの実施	◎				
			水道G L Pにおける中間審査及び更新審査の実施	水道G L Pの審査並びに外部及び内部精度管理の実施			◎	
				外部及び内部精度管理の実施			◎	
	(3) 再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討	省エネルギー対策に向けた取り組み	マイクロ水力発電の調査検討、自然流下方式への転換検討の実施状況など	○				
			地球温暖化対策に向けた取り組み	温室効果ガスの削減率			◎	
				建設副産物のリサイクル率			◎	
				建設発生土の有効利用率			○	
	(4) 情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み	浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用率	◎				
			情報セキュリティに関する情報収集や研修、訓練の参加	情報セキュリティに関する情報収集や研修、訓練の参加			○	
				各種研修の参加や訓練の実施			安全管理に関する講習会の実施回数	◎
							安全パトロールの実施	

評価項目数①	達成状況②	達成率(②/①)
11	10.25	93%

成果指標	目標	実績	成果評価	成果評価に対する説明
水道水における水質基準超過件数(※4)	0件	0件	A	0回であったことからAと評価し、引き続き水源水質の管理を継続する。
温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量(※6)	103,367kg-CO2/年以上	1,647,670kg-CO2/年	A	1,647,670kg-CO2の削減であったことから、Aと評価し、引き続き温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを推進していく。
情報セキュリティ及び安全管理に関する講習会参加延べ人数	83人以上/年	92人/年	A	92人だったことから、Aと評価し、引き続き職員の講習会参加により、情報セキュリティの強化や安全管理の充実を図る。

個別管理シート

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌	実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策 （担当課：計画課、（工事担当課））				
主 な 施 策 内 容：配水池の耐震化（水道事業）					
評 価 項 目：施設耐震化の実施状況（配水池）				達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	設計等	設計等	工事等	工事等	工事等
実績値	設計等				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等	/	/
実績値				/	/
達成状況				/	/

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	配水池の耐震化率（水道）	<成果指標とした理由>
目標値	35%(R10) 45%(R15)	安定給水には配水池（水道）及び浄水施設（用供）の耐震化がまず優先されるため。（工事完了後に数値に反映されるため、5年後及び10年後の耐震化率により評価）
実績値	-	
成果評価	-	

《実施内容》

- ・配水池の耐震化（上烏田浄水場、上飯野配水場、伊豆島配水場）
- ※レベル2地震動（阪神淡路大震災クラスの巨大地震）に耐えられるようにする。

《実施内容に関する説明》

上烏田浄水場はDBで契約し、配水池更新の詳細設計を実施、伊豆島配水場も配水池更新の詳細設計を実施した。上飯野配水場は耐震診断の結果、補強が困難と判明したため、今後、代替の方法を検討する。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌	実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策 （担当課：計画課（用水供給課））				
主 な 施 策 内 容：浄水場内施設の耐震化（水道用水供給事業）					
評 価 項 目：施設耐震化の実施状況（大寺浄水場内）				達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	設計等	設計等	工事等	工事等	工事等
実績値	設計等				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等	工事等	工事等
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	耐震化済施設数の割合（用供）	<成果指標とした理由>
目標値	35%(R10) 45%(R15)	安定給水には配水池（水道）及び浄水施設（用供）の耐震化がまず優先されるため。（工事完了後に数値に反映されるため、5年後及び10年後の耐震化率により評価）
実績値	-	
成果評価	-	

《実施内容》

- ・大寺浄水場内の耐震化
- （急速ろ過地、中間ポンプ棟、活性炭吸着槽、特別高圧受変電所）

《実施内容に関する説明》

急速ろ過地は高度な耐震診断を実施し、補強不要となった。中間ポンプ棟及び活性炭吸着槽の更新は基本設計を実施のほか、用地交渉を開始した。特別高圧受変電所は詳細設計を実施した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌	実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策 （担当課：計画課（工事担当課））													
主な施策内容：非常用自家発電設備の整備	<table border="1" style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100px;">達成状況</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> </table>					達成状況	◎							
達成状況	◎													
評価項目：非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道事業）														
	R6	R7	R8	R9	R10									
目標値	設計等	工事等	設計等	工事等	工事等									
実績値	設計等													
達成状況	◎													
	R11	R12	R13	R14	R15									
目標値	状況に応じて整備	状況に応じて整備	状況に応じて整備	状況に応じて整備	状況に応じて整備									
実績値														
達成状況														
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">成果指標</td> <td style="width: 35%;">浄水場事故回数</td> <td rowspan="4" style="width: 50%; vertical-align: top;"> <成果指標とした理由> 浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。 </td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td style="text-align: center;">0回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td style="text-align: center;">0回</td> </tr> <tr> <td>成果評価</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	成果指標	浄水場事故回数	<成果指標とした理由> 浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。	目標値	0回	実績値	0回	成果評価	A					
成果指標	浄水場事故回数	<成果指標とした理由> 浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。												
目標値	0回													
実績値	0回													
成果評価	A													
※ 成果評価について「0回」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。														
《実施内容》 ・非常用自家発電設備の整備 （三直増圧ポンプ場（R6～R7）、大戸見浄水場（R8～R10））														
《実施内容に関する説明》 三直増圧ポンプ場について非常用自家発電設備設置に係る基本・詳細設計を実施し、計画通りR7に設置工事に入る予定である。														
《改善点・対策など》														

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌	実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策 （担当課：計画課（用水供給課））													
主な施策内容：非常用自家発電設備の整備	<table border="1" style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100px;">達成状況</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>					達成状況	-							
達成状況	-													
評価項目：非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道用水供給事業）														
	R6	R7	R8	R9	R10									
目標値	/	設計等	工事等	工事等	工事等									
実績値	/													
達成状況	/													
	R11	R12	R13	R14	R15									
目標値	工事等	工事等	工事等	工事等	工事等									
実績値														
達成状況														
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">成果指標</td> <td style="width: 35%;">浄水場事故回数</td> <td rowspan="4" style="width: 50%; vertical-align: top;"> <成果指標とした理由> 浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。 </td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td style="text-align: center;">0回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>成果評価</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	成果指標	浄水場事故回数	<成果指標とした理由> 浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。	目標値	0回	実績値	-	成果評価	-					
成果指標	浄水場事故回数	<成果指標とした理由> 浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。												
目標値	0回													
実績値	-													
成果評価	-													
※ 成果評価について「0回」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。														
《実施内容》 ・非常用自家発電設備の整備 （大寺浄水場内施設（R11～）、十日市場浄水場内施設（R7～）、場外施設（中継ポンプ場等）（R7～））														
《実施内容に関する説明》 -														
《改善点・対策など》														

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌

実現施策（２）適正な維持管理による水道施設の機能保持

（担当課：用水供給課、施設管理課）

主な施策内容：管路の漏水調査の実施

評価項目：管路の漏水調査

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年
実績値	4,947.1km/年				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年	1,000 km以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。

成果指標	管路の事故割合（水道）		<成果指標とした理由> 漏水等の管路事故が断水につながることから、未然防止や漏水時の迅速な修繕体制を整備する必要があるため。
目標値	10件/100km(R10)	8.9件/100km(R15)	
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

《実施内容》

・管路の漏水調査

《実施内容に関する説明》

音響調査544km、音圧監視調査46.3km、衛星漏水調査3,284kmを実施したほか、送水管は89.4kmを月1回以上目視点検で行い、計4,947.1km点検した。漏水の早期発見に努め、断水の未然防止を図った。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌

実現施策（２）適正な維持管理による水道施設の機能保持

（担当課：用水供給課、施設管理課）

主な施策内容：水管橋の点検実施

評価項目：水管橋の点検

達成状況

×

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年
実績値	30か所/年				
達成状況	×				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。

成果指標	管路の事故割合（水道）		<成果指標とした理由> 漏水等の管路事故が断水につながることから、未然防止や漏水時の迅速な修繕体制を整備する必要があるため。
目標値	10件/100km(R10)	8.9件/100km(R15)	
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

《実施内容》

・水管橋の点検

《実施内容に関する説明》

水管橋のうち、送水管については、3か所の点検を実施し、計画どおりの実施となった一方、配水管については、調査対象の選定に時間を要し、150か所に対し27か所の実施となった。

《改善点・対策など》

河川への添架状況によっては単純な目視点検が困難なケースがあるため、困難箇所の情報整理を行い、橋梁点検車やドローン等の採用について検討していく。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌	実現施策（２）適正な維持管理による水道施設の機能保持 (担当課：計画課)				
主な施策内容：運転管理業務の集約化					
評価項目：集中監視設備の集約化（富津市域、袖ヶ浦市域）	達成状況		◎		
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	設計（袖ヶ浦）	設計（袖ヶ浦）	工事（富津、袖ヶ浦）	工事（富津、袖ヶ浦）	工事（富津、袖ヶ浦）
実績値	設計（袖ヶ浦）				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	/	/	/	/	/
実績値	/	/	/	/	/
達成状況	/	/	/	/	/
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。					
《実施内容》 ・集中監視設備の集約（富津市域（R8～R10）、袖ヶ浦市域（R6～R10））					
《実施内容に関する説明》 袖ヶ浦市域の集中監視設備集約に係る基本設計を実施した。また、設備集約に係る工事の発注手法などを検討したところ、4か年となる見込みであることが判明したため、今後、フォローアップを予定している。					
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 韌	実現施策（３）県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化 (担当課：計画課)				
主な施策内容：① 応急給水訓練や情報伝達訓練の実施 ② プロジェクトチームによる危機管理体制の強化 ③ かずさ四市との応急給水等連絡調整会議の実施					
評価項目：関連する訓練及び会議の実施回数	達成状況		◎		
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	9回以上/年	9回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年
実績値	14回/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年
実績値					
達成状況					
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。					
成果指標 目標値 実績値 成果評価	応急給水訓練等参加延べ人数 189人以上/年 351人/年 A	<成果指標とした理由> 過去の災害や漏水事故の経験から、災害対応力の強化には平常時からの訓練の参加、実施が必要であり、応急給水訓練等の参加により災害発生時に迅速な対応を行うため。			
※ 目標値以上を「A」、評価年度の正職員数以上目標値未満を「B」、それ以外は「D」とする。					
《実施内容》 ・応急給水訓練及び情報伝達訓練の実施（各訓練2回以上/年） (①) ・プロジェクトチーム会議の実施（3回以上/年 (R6、R7)) (②) ・応急給水等連絡調整会議の実施（2回以上/年） (③) ※ (②)のR8以降は、会議の実施、災害基本計画等の見直し及び備蓄資材の購入について適宜対応。					
《実施内容に関する説明》 付表に記載のとおり。					
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート (付表)

強 韌		付 表-①			
実現施策 (3) 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化 (担当課：計画課)					
主 な 施 策 内 容：① 応急給水訓練や情報伝達訓練の実施					
評 価 項 目：応急給水訓練や情報伝達訓練の実施回数					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年
実績値	7回/年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年
実績値					
《実施内容》 ・ 応急給水訓練及び情報伝達訓練の実施 (各訓練年2回以上)					
《実施内容に関する説明》 情報伝達訓練 (4月：153名、10月：152名)。応急給水訓練 (6月：8名、2月：20名)。構成市合同応急給水訓練 (11月：7名、12月：6名、1月：5名)。延べ351名参加となり危機管理体制の強化を図った。					
《改善点・対策など》					

強 韌		付 表-②			
実現施策 (3) 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化 (担当課：計画課、総務課)					
主 な 施 策 内 容：② プロジェクトチームによる危機管理体制の強化					
評 価 項 目：プロジェクトチーム会議回数など					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3回/年	3回/年	適宜実施	適宜実施	適宜実施
実績値	3回/年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施
実績値					
《実施内容》 ・ プロジェクトチーム会議の実施 (R6、R7) ・ 災害基本計画等の見直し (適宜) ・ 備蓄資材購入 (適宜)					
《実施内容に関する説明》 プロジェクトチーム会議を5月、9月、2月の計3回開催し、災害基本計画等の見直しや備蓄資材購入を実施し、危機管理体制の強化を図った。					
《改善点・対策など》					

強 韌		付 表-③			
実現施策 (3) 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化 (担当課：計画課)					
主 な 施 策 内 容：③ かずさ四市との応急給水等連絡調整会議の実施					
評 価 項 目：応急給水等連絡調整会議回数					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年
実績値	4回/年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年
実績値					
《実施内容》 ・ 応急給水等連絡調整会議の実施					
《実施内容に関する説明》 木更津市、袖ヶ浦市、富津市においては8月、君津市においては9月に応急給水連絡担当者会議を開催し、計4回実施した。相互に連携して綿密な連絡調整を図った。					
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全	実現施策（１）安定した水源の確保				(担当課：用水供給課)
主な施策内容：水源水質の監視					
評価項目：水源水質監視項目などの水質検査				達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
実績値	12回/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。

成果指標	水道水における水質基準超過件数	＜成果指標とした理由＞
目標値	0件	水源での臭気物質発生などの水源水質事故は浄水処理に大きく影響し、広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。
実績値	0件	
成果評価	A	

※ 成果評価について「0件」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水源水質監視項目などの水質検査 ・ 水質異常汚染源調査
《実施内容に関する説明》	定期的な監視のほか、かび臭物質増加などの水質悪化時には検査箇所、頻度を高めることで安定した水源の確保に努め、適切な浄水処理に資することができた。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全	実現施策（１）安定した水源の確保				(担当課：用水供給課)
主な施策内容：水道法の検査頻度に基づく検査の実施					
評価項目：水質基準項目などの水質検査				達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
実績値	12回/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。

成果指標	水道水における水質基準超過件数	＜成果指標とした理由＞
目標値	0件	水源での臭気物質発生などの水源水質事故は浄水処理に大きく影響し、広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。
実績値	0件	
成果評価	A	

※ 成果評価について「0件」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道法に基づく検査の実施 ・ 環境保全に基づく検査の実施
《実施内容に関する説明》	水質検査計画に定めた水質検査回数を12回、51項目の検査を実施し、適切な浄水処理に資することができた。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安 全	実現施策（２）適正な水質管理、水質検査水準の維持 （担当課：用水供給課）			
主な施策内容：水安全計画のフォローアップ				
評価項目：水安全計画のフォローアップの実施	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td style="width: 100px;">達成状況</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> </table>	達成状況	◎	
達成状況	◎			
R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
実績値	1回／年			
達成状況	◎			
R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
実績値				
達成状況				
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。				
《実施内容》 ・水安全計画のフォローアップの実施				
《実施内容に関する説明》 検討会を組織し、8月の会議では、適正な運用状況の確認を行った。また、2月の会議では、現状の課題確認、運用評価のとりまとめ、見直し事項の確認など、計画のフォローアップを実施した。				
《改善点・対策など》				

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安 全	実現施策（２）適正な水質管理、水質検査水準の維持 （担当課：用水供給課）			
主な施策内容：① 水道GLPにおける中間審査及び更新審査の実施 ② 外部及び内部精度管理の実施				
評価項目：水道GLPの審査並びに外部及び内部精度管理の実施	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td style="width: 100px;">達成状況</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> </table>	達成状況	◎	
達成状況	◎			
R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4回以上／年	4回以上／年	3回以上／年	4回以上／年
実績値	4回以上／年			
達成状況	◎			
R11	R12	R13	R14	R15
目標値	4回以上／年	3回以上／年	4回以上／年	3回以上／年
実績値				
達成状況				
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。				
《実施内容》 ・水道GLPの審査の実施（中間審査：R7,R11,R15 更新審査：R6,R9,R13） ① ・外部及び内部精度管理の実施（外部：年2回以上 内部：年1回以上） ②				
《実施内容に関する説明》 付表に記載のとおり。				
《改善点・対策など》				

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート (付表)

安全

付表-①

実現施策(2) 適正な水質管理、水質検査水準の維持

(担当課：用水供給課)

主な施策内容：① 水道GLPにおける中間審査及び更新審査の実施

評価項目：水道GLPの審査の実施(中間審査：R7,R11,R15 更新審査：R6,R9,R13)

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	更新審査 1回/年	中間審査 1回/年		更新審査 1回/年	
実績値	1回/年				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	中間審査 1回/年		更新審査 1回/年		中間審査 1回/年
実績値					

《実施内容》

・水道GLPの審査の実施(中間審査：R7,R11,R15 更新審査：R6,R9,R13)

《実施内容に関する説明》

更新審査を受け、R7年8月に認定更新となった。引き続き、適正な水質管理、水質基準の維持に努めていく。

《改善点・対策など》

安全

付表-②

実現施策(2) 適正な水質管理、水質検査水準の維持

(担当課：用水供給課)

主な施策内容：外部及び内部精度管理の実施

評価項目：外部及び内部精度管理の実施

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年
実績値	14回/年				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年
実績値					

《実施内容》

・外部及び内部精度管理の実施(外部：年2回以上、内部：年1回以上)

《実施内容に関する説明》

5月に環境省、7月に千葉県の実施する外部精度管理に参加したほか、内部精度管理は12回実施した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

<table border="1"> <tr> <td>安全</td> </tr> </table> <p>実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討 (担当課：計画課)</p> <p>主な施策内容：省エネルギー対策に向けた取り組み</p> <p>評価項目：マイクロ水力発電の調査検討、自然流下方式への転換検討の実施状況など</p>						安全											
安全																	
					達成状況	○											
	R6	R7	R8	R9	R10												
目標値	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施												
実績値	検討の実施																
達成状況	○																
	R11	R12	R13	R14	R15												
目標値	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施												
実績値																	
達成状況																	
<p>※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「○」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。</p> <table border="1"> <tr> <td>成果指標</td> <td>温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量</td> <td><成果指標とした理由></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>103,367kg-CO2/年以上</td> <td>地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,647,670kg-CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果評価</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。</p> <p>《実施内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロ水力発電の調査検討 ・自然流下方式への転換検討など <p>《実施内容に関する説明》</p> <p>水力や太陽光を用いて効率的な発電が可能と想定される場所の検討を実施した。また、他事業体の導入事例についても調査を実施した。</p> <p>《改善点・対策など》</p> <p>より効果的な場所を選定するため、今後は業務委託等を活用し、再生可能エネルギーの導入検討を実施したい。</p>						成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>	目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。	実績値	1,647,670kg-CO2/年		成果評価	A	
成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>															
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。															
実績値	1,647,670kg-CO2/年																
成果評価	A																

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

<table border="1"> <tr> <td>安全</td> </tr> </table> <p>実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討 (担当課：計画課)</p> <p>主な施策内容：地球温暖化対策に向けた取り組み</p> <p>評価項目：温室効果ガスの削減率</p>						安全																																			
安全																																									
					達成状況	◎																																			
	R6	R7	R8	R9	R10																																				
目標値	0.5%	0.5%	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる																																				
実績値	8.1%																																								
達成状況	◎																																								
<p>※ R6、R7の目標値は、地球温暖化対策実行計画に基づき、R1、R2の平均値から0.5%削減。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R11</td> <td>R12</td> <td>R13</td> <td>R14</td> <td>R15</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>次期計画目標値に準ずる</td> <td>次期計画目標値に準ずる</td> <td>次期計画目標値に準ずる</td> <td>次期計画目標値に準ずる</td> <td>次期計画目標値に準ずる</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが削減できた場合は「△」、削減できなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。</p> <table border="1"> <tr> <td>成果指標</td> <td>温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量</td> <td><成果指標とした理由></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>103,367kg-CO2/年以上</td> <td>地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,647,670kg-CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果評価</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。</p> <p>《実施内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの削減 <p>《実施内容に関する説明》</p> <p>送水設備をより電気効率の良い設備へ更新したことなどにより、温室効果ガスの排出の多くを占める電力の使用量を削減することができた。</p> <p>《改善点・対策など》</p>							R11	R12	R13	R14	R15	目標値	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	実績値						達成状況						成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>	目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。	実績値	1,647,670kg-CO2/年		成果評価	A	
	R11	R12	R13	R14	R15																																				
目標値	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる																																				
実績値																																									
達成状況																																									
成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>																																							
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。																																							
実績値	1,647,670kg-CO2/年																																								
成果評価	A																																								

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">安全</div>						
実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討 （担当課：計画課）						
主な施策内容：地球温暖化対策に向けた取り組み						
評価項目：建設副産物のリサイクル率					達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10	
目標値	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	
実績値	99.1%					
達成状況	◎					
	R11	R12	R13	R14	R15	
目標値	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	
実績値						
達成状況						
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。						
成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量		＜成果指標とした理由＞			
目標値	103,367kg-CO2/年以上		地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。			
実績値	1,647,670kg-CO2/年					
成果評価	A					
※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。						
《実施内容》 ・建設副産物などの再資源化						
《実施内容に関する説明》 各種工事で排出されたアスファルト塊などの建設副産物58,458tのうち、57,910tについて再資源化施設に搬出し、リサイクル率向上を図った。						
《改善点・対策など》						

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">安全</div>						
実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討 （担当課：計画課）						
主な施策内容：地球温暖化対策に向けた取り組み						
評価項目：建設発生土の有効利用率					達成状況	○
	R6	R7	R8	R9	R10	
目標値	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	
実績値	79.6%					
達成状況	○					
	R11	R12	R13	R14	R15	
目標値	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	
実績値						
達成状況						
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。						
成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量		＜成果指標とした理由＞			
目標値	103,367kg-CO2/年以上		地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。			
実績値	1,647,670kg-CO2/年					
成果評価	A					
※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。						
《実施内容》 ・建設発生土の有効利用						
《実施内容に関する説明》 各種工事で生じた建設発生土36,817m ³ のうち、29,318m ³ について現場内利用など有効利用を図った。						
《改善点・対策など》 工事箇所の地質状況により発生土の再利用が適さない場合があり、有効利用が進まなかったことから、先進団体の対応などについて情報収集を行いながら、有効利用率の向上に努めていく。						

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
(担当課：用水供給課)

主な施策内容：浄水発生土の有効利用

評価項目：浄水発生土の有効利用率

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
実績値	100%				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると思われるため。
実績値	1,647,670kg-CO2/年	
成果評価	A	

※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

《実施内容》	・浄水発生土の有効利用
《実施内容に関する説明》	発生した6,436.8m ³ について、すべて再資源化し、セメント原料などへ有効利用した。今後も積極的に有効利用を実施していく。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全	実現施策（４）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み (担当課：総務課)				
主な施策内容：情報セキュリティに関する情報収集	達成状況 ○				
評価項目：情報セキュリティに関する情報収集や研修、訓練の参加					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	7項目	7項目	7項目	7項目	7項目
実績値	6項目				
達成状況	○				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	7項目	7項目	7項目	7項目	7項目
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	情報セキュリティ及び安全管理に関する講習会参加延べ人数	<成果指標とした理由>
目標値	83人以上/年	事業を継続して運営していくために必要なコンプライアンスの徹底には、職員の意識向上が不可欠であり、講習会への参加によりセキュリティインシデントの防止につながるため。
実績値	92人/年	
成果評価	A	

《実施内容》

- 千葉県サイバーテロ対策協議会（千葉県警）を通じた情報共有
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）からの情報収集
- ICT化推進連絡会議の開催
- 庁内ホームページや情報共有ツールを通じた職員への周知
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が実施する研修への職員参加
- 情報通信研究機構（NICT）が実施するセキュリティに関する研修への参加
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が実施するセキュリティに関する訓練への参加

《実施内容に関する説明》

情報セキュリティに関する各種団体との情報交換や、J-LIS、NICTの研修に参加した。また、ICT化推進連絡会議を年2回開催し、情報共有を図ったほか、庁内に周知しセキュリティ意識の強化に努めた。

《改善点・対策など》

J-LIS実施のセキュリティに関する訓練は未開催で未実施となったが、各種研修参加により、セキュリティ対策はすすめている。引き続き定期的な情報収集に努め、参加を推進していく。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全	実現施策（４）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み (担当課：計画課)				
主な施策内容：① 各種研修の参加や訓練の実施 ② 安全パトロールの実施	達成状況 ◎				
評価項目：安全管理に関する講習会及び安全パトロールの実施回数					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	13回/年以上	13回/年以上	13回/年以上	13回/年以上	13回/年以上
実績値	20回/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	13回/年以上	13回/年以上	13回/年以上	13回/年以上	13回/年以上
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	情報セキュリティ及び安全管理に関する講習会参加延べ人数	<成果指標とした理由>
目標値	83人以上/年	建設工事の多い水道事業にあって、重大事故を防止し、作業員の安全を守り、事業を着実に推進していくためには、職員の安全教育が不可欠であるため。
実績値	92人/年	
成果評価	A	

《実施内容》

- 安全管理に関する教育講習等の実施（1回以上/年） ①
- 安全パトロールの実施（12回以上/年） ②

《実施内容に関する説明》

付表に記載のとおり。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

安 全		付 表-①			
実現施策（４）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み （担当課：計画課）					
主 な 施 策 内 容：各種研修の参加や訓練の実施					
評 価 項 目：安全管理に関する講習会の実施回数					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上
実績値	1回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上
実績値					
《実施内容》					
・安全管理に関する教育講習等の実施（1回以上／年）					
《実施内容に関する説明》					
安全管理に関するビデオ講習を8月に実施したことで、事故を未然に防ぎ、職員の意識向上や安全管理の充実を図ることができた。					
《改善点・対策など》					

安 全		付 表-②			
実現施策（４）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み （担当課：計画課）					
主 な 施 策 内 容：安全パトロールの実施					
評 価 項 目：安全パトロールの実施回数					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上
実績値	19回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上
実績値					
《実施内容》					
・安全パトロールの実施（12回以上／年）					
《実施内容に関する説明》					
安全パトロールを合計19回実施し、工事現場における建設労働災害を未然に防ぎ、発注者側の立場から建設工事などの安全確保を図ることができた。					
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続						
実現施策（1）安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成 （担当課：総務課）						
主 な 施 策 内 容：技術継承のための次世代を担う職員の確保 ：人物及び経験を重視した民間企業等経験者の採用選考の実施						
評 価 項 目：企業団正職員の比率					達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10	
目標値	65.00%	66.88%	68.75%	70.63%	72.50%	
実績値	67.50%					
達成状況	◎					
	R11	R12	R13	R14	R15	
目標値	74.84%	76.58%	78.34%	79.49%	80.00%	
実績値						
達成状況						
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、目標値には達しなかったが、比率が向上した場合は、「○」、採用選考を実施した場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。						
成果指標	職員採用後3年以内の離職率		<成果指標とした理由>			
目標値	20%以内(R10)	20%以内(R15)	将来にわたり安全で強靱な水質を次世代に継承していくためには、人材の確保による組織力の高揚が必要であるため。			
実績値	-	-				
成果評価	-	-				
※ 目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。						
《実施内容》						
・企業団正職員の採用						
《実施内容に関する説明》						
新規採用試験を1回、民間企業等経験者の採用選考を2回実施し（R6年度中2名、R7年度から9名採用）、次世代を担う職員の確保に努めた。						
《改善点・対策など》						

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続						
実現施策（1）安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成 （担当課：総務課）						
主 な 施 策 内 容：新規採用職員が早期に職場に適応し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い職場環境づくり						
評 価 項 目：メンター制度の実施、ハラスメント対策、メンタルヘルス対策					達成状況	◎
	R6	R7	R8	R9	R10	
目標値	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	
実績値	4回/年					
達成状況	◎					
	R11	R12	R13	R14	R15	
目標値	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	
実績値						
達成状況						
※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。						
成果指標	職員採用後3年以内の離職率		<成果指標とした理由>			
目標値	20%以内(R10)	20%以内(R15)	将来にわたり安全で強靱な水質を次世代に継承していくためには、人材の確保による組織力の高揚が必要であるため。			
実績値	-	-				
成果評価	-	-				
※ 目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。						
《実施内容》						
・新規採用職員などとメンターにおける定期面談の実施 ・管理監督者などへのハラスメント研修の実施（1回以上/年） ・新規採用職員や管理監督者などへのメンタルヘルス研修の実施（1回以上/年）						
《実施内容に関する説明》						
付表に記載のとおり。						
《改善点・対策など》						

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート (付表)

持 続		付 表①			
実現施策（１）安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成 (担当課：総務課)					
主 な 施 策 内 容：新規採用職員が早期に職場に適應し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い 職場環境づくり					
評 価 項 目：メンター制度の実施					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》 ・新規採用職員などとメンターにおける定期面談の実施					
《実施内容に関する説明》 R6新規採用職員等8名(R5年度中途採用含む)に先輩職員「メンター」をつけて、各々定期的 に面談を実施し、職員の定着を図った。					
《改善点・対策など》					

持 続		付 表②			
実現施策（１）安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成 (担当課：総務課)					
主 な 施 策 内 容：新規採用職員が早期に職場に適應し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い 職場環境づくり					
評 価 項 目：ハラスメント対策					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年
実績値	2回/年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年
実績値					
《実施内容》 ・管理監督者などへのハラスメント研修の実施（1回以上/年）					
《実施内容に関する説明》 8月「ハラスメント対策」講習会、35名。12月「管理職のためのハラスメント問題対応研修」33名が 参加し、ハラスメントについての理解を深め、よりよい職場環境づくりを図った。					
《改善点・対策など》					

持 続		付 表③			
実現施策（１）安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成 (担当課：総務課)					
主 な 施 策 内 容：新規採用職員が早期に職場に適應し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い 職場環境づくり					
評 価 項 目：メンタルヘルス対策					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年
実績値	1回/年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年
実績値					
《実施内容》 ・新規採用職員や管理監督者などへのメンタルヘルス研修の実施（1回以上/年）					
《実施内容に関する説明》 初任者・派遣職員研修において、メンタルヘルス研修として「セルフケアとラインケアについて」を 実施し、職員の心の健康確保を図った。					
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（１）安全・強靱な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：職員が、主体的に学び、常に業務を取り巻く状況を的確に把握し、新しい視点や豊かな創造力を持って業務に取り組むための研修の充実

評価項目：内部外部の研修時間数

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4時間以上/人	4時間以上/人	4時間以上/人	4時間以上/人	4時間以上/人
実績値	17時間/人				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	4時間以上/人	4時間以上/人	4時間以上/人	4時間以上/人	4時間以上/人
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	職員採用後3年以内の離職率		＜成果指標とした理由＞
目標値	20%以内(R10)	20%以内(R15)	将来にわたり安全で強靱な水次世代に継承していくためには、人材の確保による組織力の高揚が必要であるため。
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

※ 目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。

《実施内容》
・内部外部の研修への参加

《実施内容に関する説明》
計画内研修1,891.3時間（延べ153人）、計画外研修903.6時間（延べ217人）となり、職務に必要な知識、専門能力の習得などにより水道のスペシャリストの育成に資することができた。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（２）事務の効率化推進、一体化

(担当課：計画課)

主な施策内容：各種システムの統一、運用方法の確立

評価項目：各種システムの統一、集約

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	7件	1件			
実績値	8件				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》
・各種システムの統一、集約（R6～R7）
R6：財務会計システム、人事給与システム、勤怠管理システム、料金徴収システム、設備管理台帳システム、管網管理システム、水質検査データ管理システム
R7：給水工事管理台帳システム

《実施内容に関する説明》
財務会計、人事給与、勤怠管理、料金徴収、設備管理台帳、管網管理、水質検査データ管理システムのほか、R7実施予定の給水工事管理台帳システムも前倒して実施し、計8件すべて統一、集約した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（3）施設統廃合計画の推進による施設の適正化

（担当課：計画課、（工事担当課））

主な施策内容：施設の統廃合事業

評価項目：施設統廃合事業の実施状況

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	工事等	工事等	工事等	工事等	工事等
実績値	工事等				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等		
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	施設の統廃合事業		＜成果指標とした理由＞ 施設統廃合は将来の施設更新や維持費用の削減が期待できる統合広域化の大きなメリットであり、着実に実施する必要があるため。 (複数年にわたる事業であるため、R10、R15時点での達成状況により評価)
目標値	事業/3事業=%(R10)	事業/5事業=%(R15)	
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

※ 予定している事業の達成割合で評価する。

《実施内容》

- ・上烏田（木更津）、久保、北子安（君津）、上飯野（富津）の配水区域の統廃合
- ・かずさ（木更津）、依田（君津）の配水区域の統廃合
- ・伊豆島（木更津）、吉野田（袖ヶ浦）の配水区域の統廃合

《実施内容に関する説明》

上烏田等の統廃合は配水池等更新DB事業の契約締結のほか、配管工事や上飯野配水池耐震診断等を実施した。かずさ等の統廃合は連絡管布設等を実施し、伊豆島等の統廃合は配水池更新の詳細設計を実施した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（４）将来を見据えた管路の整備

（担当課：工務課、施設管理課）

主な施策内容：老朽管、経年管の適切な解消

評価項目：①管路更新率、②有効率

達成状況

△

① 管路更新率

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1.2%/年以上	1.2%/年以上	1.2%/年以上	1.2%/年以上	1.2%/年以上
実績値	1.2%/年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1.0%/年以上	1.0%/年以上	1.0%/年以上	1.0%/年以上	1.0%/年以上
実績値					

達成状況	R6	R7	R8	R9	R10
	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15

② 有効率

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上
実績値	△0.7%				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上
実績値					

達成状況	R6	R7	R8	R9	R10
	×				
	R11	R12	R13	R14	R15

※1 ①管路更新率については、各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

※2 ②の有効率については、各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、達成できなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	老朽管更新率		＜成果指標とした理由＞ 更新管路の優先度を基に、老朽管、経年管を解消していくことが継続的な安定給水につながるため。
目標値	6.0%以上(R10)	11.0%以上(R15)	
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

《実施内容》

・老朽管の更新

《実施内容に関する説明》

管路更新により老朽管率は1.3%減少したものの、判明していない地下漏水が増加していると想定され、有効率向上にはつながらず、前年度より有効率は0.7%の減少となった。

《改善点・対策など》

引き続き老朽管の更新を積極的に行っていく。一方、漏水調査については、衛星を活用した新しい漏水調査技術などの積極的な活用により、早期発見、及び修繕を実施し、有効率向上に努める。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（５）お客様への情報提供の充実

(担当課：総務課)

主な施策内容：ホームページなどを利用した情報の提供

評価項目：ウェブページへの掲載回数

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年
実績値	475回/年				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	ウェブページへの閲覧回数	<成果指標とした理由>
目標値	7万件以上/年	ウェブページの掲載を充実させることで、閲覧回数の向上が図られると考えられるため。
実績値	8.2万件/年	
成果評価	A	

《実施内容》

・ホームページを利用した情報の提供

《実施内容に関する説明》

ウェブページへの掲載回数475回/年で、お客様への情報提供の充実を図り、ウェブページの閲覧回数は82,245件/年であった。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（５）お客様への情報提供の充実

(担当課：総務課)

主な施策内容：広報紙の発行

評価項目：広報紙の発行回数

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年
実績値	2回/年				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

・広報紙の発行

《実施内容に関する説明》

10月に発行した第10号では、主に能登半島地震での当企業団被災地派遣の状況を、3月に発行した第11号では、主に予算、決算や上烏田配水池事業の取り組み状況などを掲載し、水道事業の情報発信に努めた。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（5）お客様への情報提供の充実

(担当課：計画課)

主な施策内容：市主催防災イベントへの参加

評価項目：市主催防災イベントへの参加

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
実績値	4回				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、参加できなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

・市主催防災イベントへの参加

《実施内容に関する説明》

5月：富津市防災フェスタ、11月：君津市総合防災訓練、11月：きさらづ防災フェスタ2024、2月：袖ヶ浦市総合防災訓練。計4回市主催防災イベントへ参加し、お客様への情報発信を行った。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（6）ICT（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究

（担当課：業務課、計画課）

主 な 施 策 内 容：① ICT(情報通信技術)などの新しい技術を用いた業務の調査、研究
 :② 官民連携(デザインビルド方式など)による業務の効率化に向けた導入、調査、検討
 :③ 非開削工法や管更生工法など、開削工法以外の管路更新手法の検討

評 価 項 目：新しい技術の導入調査、研究の実施状況

達成状況 ◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施
実績値	3件実施				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートメーターの導入及び支払方法の多様化に向けた調査、研究など (①) ・官民連携手法の検討状況 (②) ・多様な管路更新手法の検討状況 (③)
《実施内容に関する説明》	付表に記載のとおり。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート (付表)

持 続		付 表-①			
実現施策 (6) ICT (情報通信技術) など新しい技術の導入調査、研究 (担当課：業務課)					
主 な 施 策 内 容：ICT(情報通信技術)などの新しい技術を用いた業務の調査、研究					
評 価 項 目：スマートメーターの導入及び支払方法の多様化に向けた調査、研究など					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》					
<ul style="list-style-type: none"> ・スマートメーターの導入に向けた調査、研究 (R6～R15) ・支払方法の多様化に向けた調査、研究 (R6～R15) ・検針票のペーパーレス化などの新しい技術の調査、研究 (R6～R15) 					
《実施内容に関する説明》					
スマートメーター勉強会開催 (6月：職員75名)、外部セミナー・展示会出席 (7.10月)、検針票ペーパーレス化の事業者聞き取り調査 (11月)、県企業局を訪問し支払方法多様化の調査研究を実施した (1月)。					
《改善点・対策など》					
持 続		付 表-②			
実現施策 (6) ICT (情報通信技術) など新しい技術の導入調査、研究 (担当課：計画課)					
主 な 施 策 内 容：官民連携(デザインビルド方式など)による業務の効率化に向けた導入、調査、検討					
評 価 項 目：官民連携手法の検討状況					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》					
<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携手法の検討状況 					
《実施内容に関する説明》					
官民連携手法のひとつであるDB方式について、過年度より導入準備を進め、複数回の事業者選定委員会を経て「上烏田浄水場配水池等更新DB事業」の事業契約に至った。					
《改善点・対策など》					
持 続		付 表-③			
実現施策 (6) ICT (情報通信技術) など新しい技術の導入調査、研究 (担当課：計画課)					
主 な 施 策 内 容：非開削工法や管更生工法など、開削工法以外の管路更新手法の検討					
評 価 項 目：多様な管路更新手法の検討状況					
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	調査の実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》					
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な管路更新手法の検討状況 					
《実施内容に関する説明》					
各種検討業務、基本計画において、非開削工法や管更生工法の導入について、適時採用が可能か検討した。					
《改善点・対策など》					
非開削工法は費用が高額になるため、採用可能な条件に限られる。また、更正工法については軌道下や水管橋など更新が困難な箇所への採用が有効であるため、今後も情報収集や技術の動向に注視する。					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（7）持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

（担当課：企画財政課）

主な施策内容：年度ごとの財政収支状況の確認（水道事業及び用水供給事業）

評価項目：純利益、企業債残高、繰越留保資金

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	6項目	6項目	6項目	6項目	6項目
実績値	6項目				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	6項目	6項目	6項目	6項目	6項目
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「－」を記載する。

成果指標	経常収支比率	
目標値	104.44%以上(R6水道)	91.16%以上(R6用供)
実績値	106.68%	94.93%
成果評価	A	A

<成果指標とした理由>

持続可能な事業運営、継続的な施設更新には黒字を計上し安定的な経営を行う必要があるため。

※ 目標値以上を「A」、目標値から100を差し引いた値に対して75%以上100%未満を「B」、経常収支比率が100%以上、「B」未満を「C」とし、経常収支比率が100%未満を「D」とする。

なお、目標値が100%未満の場合は、100%以上を「A」、目標値以上100%未満を「B」、目標値未満を「D」とする。

成果指標	企業債残高対給水収益比率	
目標値	330.41%以内(R6水道)	87.22%以内(R6用供)
実績値	314.99%	81.21%
成果評価	A	A

<成果指標とした理由>

企業債は資金確保、世代間負担の公平性の観点から欠かせないものであるが、残高の増加は経営の硬直化を招く恐れがあるため。

※ 目標値以内を「A」、目標値を超え、目標値の105%以内を「B」、目標値の105%を超え、110%以内を「C」とし、目標値の110%を超える場合を「D」とする。

《実施内容》	・年度ごとの財政収支状況の確認
《実施内容に関する説明》	付表に記載のとおり。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

持 続

付 表-①

実現施策（7）持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

（担当課：企画財政課）

主な施策内容：年度ごとの財政収支状況の確認（水道事業）

評価項目：純利益、企業債残高、繰越留保資金

※ R11以降の目標値は、今後の財政収支の見直し時に設定する。

① 純利益

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4億円	5億円	2億円	2億円	2億円
実績値	6.4億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

② 企業債残高

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	288億円	305億円	324億円	346億円	367億円
実績値	274億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

③ 繰越留保資金

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	42億円	42億円	39億円	37億円	35億円
実績値	52.4億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

《実施内容》

・年度ごとの財政収支状況の確認

《実施内容に関する説明》

各種費用が上昇したものの、料金改定によりおおむね当初見込みどおりの料金収入が確保され、また、企業債借入も抑制されたことから、純利益（+2.4億円）、企業債残高（△14億円）、繰越留保資金（+10.4億円）でいずれも目標値を上回った。引き続き、財政収支状況を確認し健全な経営に努める。

《改善点・対策など》

持 続

付 表-②

実現施策（7）持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

（担当課：企画財政課）

主な施策内容：年度ごとの財政収支状況の確認（水道用水供給事業）

評価項目：純利益、企業債残高、繰越留保資金

※ R11以降の目標値は、今後の財政収支の見直し時に設定する。

① 純利益

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	△6億円	△2億円	△1億円	0.6億円	△0.2億円
実績値	△1.6億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

② 企業債残高

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	48億円	46億円	46億円	44億円	44億円
実績値	45億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

③ 繰越留保資金

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	60億円	57億円	50億円	51億円	48億円
実績値	72.5億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

《実施内容》

・年度ごとの財政収支状況の確認

《実施内容に関する説明》

各種費用が上昇したものの、企業債借入が抑制されたことから、純利益（+4.4億円）、企業債残高（△3億円）、繰越留保資金（+12.5億円）でいずれも目標を上回った。なお、赤字であるため、料金改定により赤字解消をすすめ、引き続き財政収支状況を確認し健全な経営に努める。

《改善点・対策など》